



米国株 MARKET PICK UP



先週の米国株式市場—ダウ平均は7週続伸で2万ドルの大台に迫る—

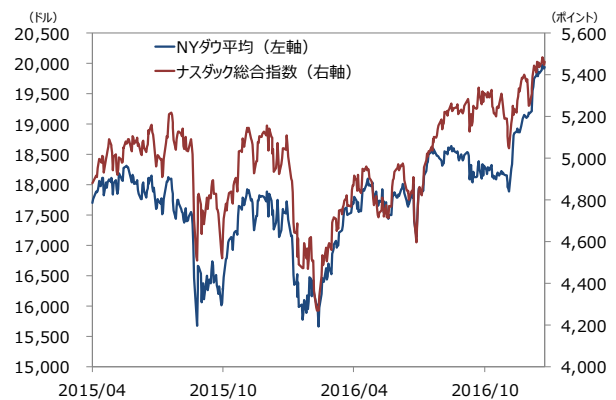
	前週終値	12月19日	12月20日	12月21日	12月22日	12月23日	週間騰落幅	週間騰落率
ダウ平均	19,843.41	19,883.06	19,974.62	19,941.96	19,918.88	19,933.81	+90.40	+0.46%
騰落幅		+39.65	+91.56	-32.66	-23.08	+14.93		
S&P500	2,258.07	2,262.53	2,270.76	2,265.18	2,260.96	2,263.79	+5.72	+0.25%
騰落幅		+4.46	+8.23	-5.58	-4.22	+2.83		
ナスダック総合指数	5,437.16	5,457.44	5,483.94	5,471.43	5,447.42	5,462.69	+25.53	+0.47%
騰落幅		+20.28	+26.50	-12.51	-24.01	+15.27		

＜先週の概況＞

先週の米国市場は、ダウ平均が週間で90ドル高と上昇し7週続伸となりました。ダウ平均は一時1万9974ドルと2万ドル直前まで上昇しましたが大台達成とはなりませんでした。

ナスダック総合指数やS&P500もそれぞれ小幅に上昇しています。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移



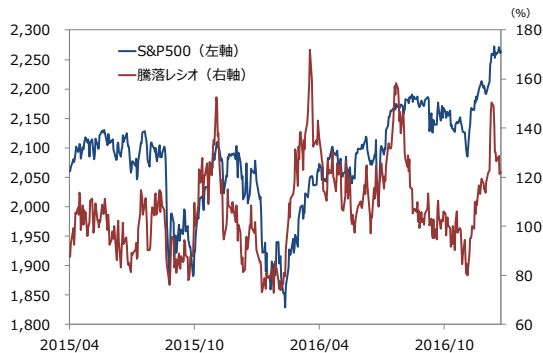
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

米国株式市場バリュエーション

指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	18.3	3.4	2.4%
S&P500	19.0	2.9	2.1%
ナスダック総合指数	22.7	3.7	1.2%

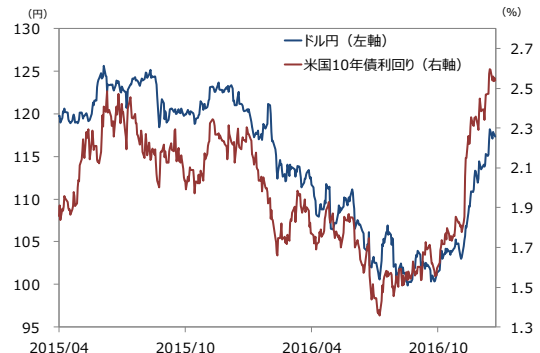
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2016年12月23日時点)

S&P500と騰落レシオの推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

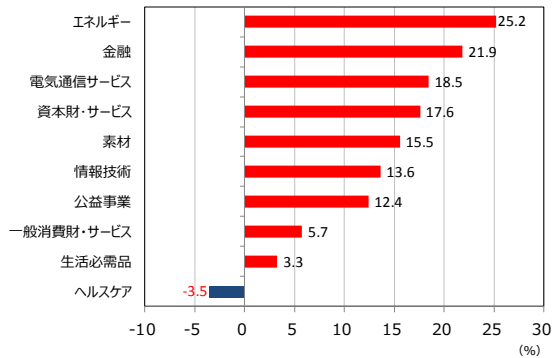
ドル円と米国長期金利の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

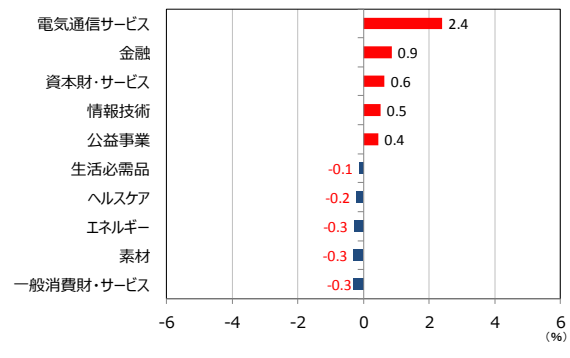
業種別リターン

S&P500 業種別年初来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング (12/19-12/23)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
VZ	ベライゾン・コミュニケーションズ	2.7
JPM	JPMorgan・チェース・アンド・カンパニー	2.5
BA	ボーイング	2.1
UTX	ユニテッド・テクノロジーズ	2.0
NKE	ナイキ	1.9
CAT	キャタピラー	1.9
INTC	インテル	1.8
MSFT	マイクロソフト	1.5
DIS	ウォルト・ディズニー	1.2
GS	ゴールドマン・サックス・グループ	0.9

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

値下がり率ランキング (12/19-12/23)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
MRK	メルク	-4.6
WMT	ウォルマート・ストアーズ	-2.0
PFE	ファイザー	-1.1
UNH	ユニテッド・ヘルス・グループ	-0.6
XOM	エクソンモービル	-0.5
KO	コカ・コーラ	-0.3
V	ビザ	-0.3
CSCO	シスコシステムズ	-0.2
MCD	マクドナルド	-0.1
HD	ホーム・デポ	-0.04

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

<上昇>

ダウ平均を構成する30銘柄のうち18銘柄が上昇、12銘柄が下落しました。ユニテッド・テクノロジーズ (UTX) は投資判断の引き上げを受け2%高としっかりでした。ナイキ (NKE) は決算が市場予想を上回ったことで2%近く上げています。また、スター・ウォーズの新作映画の観客動員が好調と伝わったウォルト・ディズニー (DIS) も上昇しています。

<下落>

投資判断の引き下げが嫌気され、メルク (MRK) が5%近い大幅安となりました。ウォルマート・ストアーズも2%安と軟調でした。

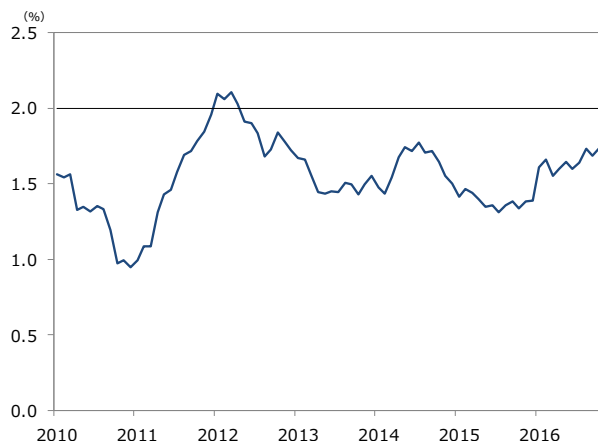
先週発表された主な経済指標

PCE コア・デフレーター（前年比） 11月 +1.6% 市場予想 +1.7% 前月 +1.7%

22日に発表された11月のPCEコア・デフレーターは前年比1.6%の上昇と、前月から伸びが鈍って市場予想を下回りました。

同指標はFRBが物価上昇率を計るうえで重視していることから伸びが加速すれば来年の利上げ見通しに影響を与える可能性がありましたが、結果的にはそうならずマーケットの反応は限定的でした。

PCEコアデフレーター（前年比）の推移



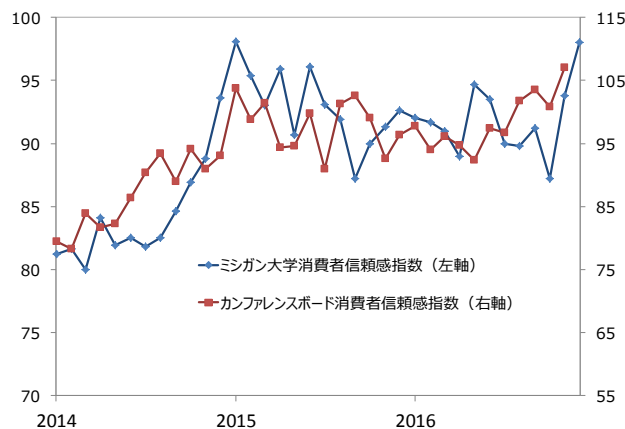
(出所) Bloombergデータよりマネックス証券作成

今後発表される主な経済指標

12月 カンファレンスボード消費者信頼感指数 市場予想 108.5 前月 107.1

27日に12月のカンファレンスボード消費者信頼感指数が発表されます。同指標は11月に大きく上昇し、個人消費が堅調に推移していることを示唆しました。市場予想では今月も前月から改善するとみられています。

消費者信頼感指数



(出所) トムソン・ロイターデータよりマネックス証券作成

マーケットビューー引き続き閑散取引で方向感出づらい展開かー

先週の米国市場でダウ平均は小幅に上昇し7週続伸となりました。先週のマーケットビューーでは、欧米がクリスマス休暇期間に入ること大きな動きは出づらいのではと記しましたが、概ね想定通りの値動きとなりました。

今週はクリスマスの振替休日のため26日の米国市場は休場です。引き続き取引参加者が少なく閑散取引になりやすいとみられます。方向感が出てくるのは来年に入ってからでしょう。ただし、ダウ平均は2万ドルの大台目前で、ここまでくると年内に1度は2万ドルをつける可能性も高そうです。

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会